



Address : Osaka YMCA, 1-5-6 Tosabori Nishiku Osaka 550-0001 Japan
Phone : (06)6441-0893

5

2012

主題 (2011/2012)

<p>国際会長 Audere est Facere - To dare is todo 「とにかくやろう-成せばなる」</p> <p>アジア会長 Audere est Facere - To dare is todo Mission with Faith 「とにかくやろう-成せばなる」 「信念をもって使命をはたそう」</p> <p>西日本区理事 Contribute to the Community through Active Services with Love 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」</p> <p>中西部長 「であいで愛」</p> <p>大阪クラブ会長 There is no time like the present: One for all , all for one 「一期一会 : ひとりひとりを大切に」</p>
--

<p>会 長 牟 大 盛 直前会長 脇 本 博 副 会 長 森 嶋 弘 明 清水 汎 豊 島 正 利 書 記 脇 本 博 孝 会 計 尾 和 信 孝 ブリテン 北 村 知 三 連絡主事 松 原 伸 幸 田 尻 忠 邦</p>
--

【今月の聖句】

「あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。」

マタイによる福音書 6 章 6 節

【5月例会プログラム】(LT・リーダーシップトレーニング強調月間)

とき：2012年5月8日(火) 19:00~21:00

ところ：徐園(肥後橋) YMCA会館ではありません 電話 06-6448-5263

会 費：メン・メネット・ビジター・ゲスト・・・5,000円

HHのOBOG・・・2000円

司会 向井 忠治郎

1. 開会の鐘 牟 大盛会長
2. クラブソング
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晩餐
6. 協議
- テーマ 「HH国際キャンプへ向けて」
7. 誕生日・結婚記念日のお祝い
8. ニコニコ・インフォメーション
9. YMCAニュース
10. 閉会の鐘 牟 大盛会長

受 付：武村、尾和、北村メネット

【第2例会のご案内】

とき：2012年5月15日(火) 19:00~20:30

ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月のお誕生日：なし



於 4月例会での豊島メンの卓話

メネットさんお誕生日：なし

結婚記念日：尾和信孝（ 8 ）清水汎（ 1 1 ）清水民夫（ 2 2 ）牟大盛（ 3 0 ）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

私たちは日頃、接する人の目と耳を気にして、静かに自分の心に生きることの難しい時代に生きています。自分の将来のことにしても、とかくすると、自分自身の声ではなく、他人の声や、時代の声が先に耳に入り、私たちが支配しそうになります。イエスが、私たちに伝えようとすることは、隠れたところにおいてになって隠れたことを見ておられる父なる神の存在です。他人の視線ではなく、神の視線ではなく、神の視線の中に身を置いてみたいものです。

【 4 月出席状況】

4 月 出 席 状 況		在 籍	例 会 出 席	ア メ ッ イ ブ ク	メ ネ ッ ト	ゲ ス ト	ビ ジ タ ー	出 席 率	二 献 コ 金 ニ コ
	正会員	1 4	1 0		3		1	7 1 . 4 %	1 3 , 4 0 5 円
	功 労 広 義 会 員	4							
	合 計	1 8	1 0		3		1		

4月例会の出席者

メネット：崔金順メネット、脇本真知子、北村信子

ビジター：今井利子メン（なかのしまクラブ）

ゲ ス ト：なし

【 B F 報告】

4月例会で清水汎メンから、下記のとおり預かっておりますので報告します。（北村）

新切手 （記念切手） 3 2 0 円

古切手

リストコイン 2 6 0 円

【クラブ役員会報告】報告者：書記 脇本 博

日時：2 0 1 2 年 4 月 1 9 日 1 9 : 0 0 - 2 0 : 3 0

場所：大阪土佐堀 Y M C A 6 0 1 号室

出席者：牟 大盛 会長、北村、條、田尻

基金拡大委員会に時間をとったため、レジメを配布し、内容の承認を得た。

協議事項

1) 5 月例会（ L T 月間）

- 5 月の特別例会

「 H H 国際キャンプに向けて」

とき 5 月 8 日 第 2 火曜日 1 9 : 0 0 - 2 1 : 0 0

ところ「徐園」(土佐堀)

会費 メン・メネット・ビジター共、5千円、HH OBOGは、各自2千円とする。

2) 今後の記念例会の申し込み状況

5月13日(日) 15:00	豊中クラブ	50周年	無料	千里ホテル	牟大盛・清水・北村夫妻・脇本夫妻
5月11日(金) 18:55-	堺C	50周年	¥8000	Fusion (フュージョン) 4 なんばパークス8F	清水、牟大盛
6月23日(土) 12:00-	泉北C	30周年	¥8000	堺リーガロイヤル	清水

【4月例会報告】

4月例会は、久しぶりに今井利子メン(なかのしまクラブ)もお元気な姿を見せられ、賑やかに開催されました。

クラブメンバーによる卓話であり、我がクラブが誇る東洋思想学の泰斗というべき豊島メンによる「東洋古典に学ぶ」というタイトルでのお話でした。豊島メンは、木南卓一先生の門下生であり、27年間勉強会に参加されているとのこと。木南先生は、大正14年生の東洋思想研究家であり、特に朱子学、江戸時代における儒教・仏教を研究されており、東洋古典講座を開講され、また編著書による書籍を多数出版されています。

慈雲尊者という江戸中期の真言律宗のお坊さんで、神道・儒教・仏教・老荘思想に通じた方の著書である十善法語についてのお話でした。豊島メンは、長年にわたり十善法語に関する勉強を続け、ブログも開設されています。

報告者のような不勉強な者には、レベルが高すぎるお話でしたが、大変刺激になりました。十善戒という十の戒めがあり、身三(不殺生戒、不偷盗戒、不邪淫戒)、口四(不妄語戒、不綺語戒・不悪口戒・不両舌戒)、意三(不貪欲戒、不瞋恚戒、不邪見戒)です。

これらの戒めについての解説とともに、これまでの研究の経緯の説明がなされました。慈雲尊者のことばとして、わかりやすい紹介がありましたが、記憶として不確かなままであり、報告するには、咀嚼が不十分ですので、ご容赦ください。詳細については、豊島メンに直接お問い合わせください。

出席者の五条メンや今井メンのお話もあり、楽しい例会の時間を過ごしました。(編集委員報告)

【第10回聴覚障がい青少年支援基金拡大委員会報告】

牟大盛

日時：2012年4月19日(木)午後7:00分~8:30分

場所：大阪YMCA会館 601号室

参加者：大阪クラブ 脇本博、北村知三、牟大盛、脇本真知子、田尻忠邦(主事)、條イサヨ
HHキャンプOBOG 高土雄輔、桜木貴博、水澤学

伊田洋子さん、万並由美子(手話通訳奉仕)、大阪YMCA 松野時彦部長(引率団長)

進行司会：田尻忠邦連絡主事、手話通訳：伊田洋子さん 以上 12名

議題

1. 第34回HH国際キャンプ進捗状況報告

1) 田尻忠邦連絡主事からつぎのとりのYMCA内の進捗状況について説明があった。

2012年7月31日から8月7日間の香港・マカオHH国際キャンプに関し、大阪YMCAでは4月の人事異動により、松野時彦部長が引率団長、担当は斉藤薫スタッフと決定したとの報告。

今後、5月の連休明けまでパンフレット作成し、その後DMの発送、学校訪問など広報活動をする。

2) 松野時彦 HH 国際キャンプ引率団長からつぎのような、経緯説明と予定があった。

今年の HH 国際キャンプへ向かい、松野団長と斉藤スタッフが決まり、今から前任の立山氏から情報を収集する。

例年は、参加者は10名前後であるが、今年は、昨年の HH 国内キャンプの参加者に加え、岩手ボランティアセンターなどを通して、被災者支援の観点で仙台 YMCA を窓口で20名前後を予定しており、すでに飛行機の座席を20名予約している。

予算としては、被災者支援寄付の一部、クリスマス献金、チャリテイラン支援基金、ワイズメンズクラブの支援、YMCA事業費などから拠出する予定である。

今後について、財政的、参加人数の確保など課題が多く、大阪 YMCA として方向性を探っている状況であるとの報告があった。

2. 募集、広報、支援学校訪問等

募集と広報はDM・学校訪問などあらゆる方法で5月早々に開始する。

昨年同様に、センテニアルクラブ 新保正秋メンのご協力を頂く。

水澤学OBから、HH中高生セミナーへの参加学生に呼びかける旨、提案があった。

また、京都プリンスクラブの聴覚障がい小学生支援「マイマイ」のOBへの呼びかけの提案もあった。

3. 次回拡大委員会については、5月8日(火)19:00から徐園にて、HH国際キャンプへの集中例会があり、その場で詳細に協議する。

4. その他

- 大阪YMCAのHHキャンプに関する方向性については、再度 協議する予定を確認した。

【大阪高槻クラブ30周年記念例会報告】

脇本 博

4月15日(日)たかつき京都ホテルにて、140名の参加を持って、14:30より河戸高槻クラブ会長の開会点鐘、並びに30周年を迎えたご挨拶で、第一部記念例会が開始しました。来賓の濱田高槻市長からは、地域に於ける高槻クラブさんの貢献に感謝の言葉を述べられました。同盟前理事長の中川善弘さん、大阪YMCA総主事の挨拶が続き、最後に西日本区理事浅岡徹夫さんはお祝いの挨拶とともに、全ワイズに対して東日本大震災復興になお一層の支援をと訴えられました。

記念講演は、高野山真言宗別格本山篠栗四国総本山 南蔵院ご住職林覚乗さんでした。「出会う人に明るさを与えられる人間でありたい」を信条に「生きることの大切さ」を訴える講演を「現代の布教」と位置づけ、社会のいろいろな出来事を材料にお話しをして下さいました。皆さんがよく笑っておられましたが、私は年のせいかどうか、講師のあまりの早口と饒舌と話しの落ちについていけず、どこが面白いのか、私には理解しにくい点が多々ありました。

続いてプロジェクターを用いて高槻クラブさんの発展の紹介が有りました。1982年5月13日、高槻YMCAが出来た4年前、高槻市民会館で産声を上げました。以後、地域に密着した活動を地道に続けられ、高槻祭り、環境美化キャンペーン、緑のカーニバル、Yへの奉仕では高槻YMCA、クリスマス会、餅つき、大阪YMCAチャリテイラン等。また十勝ジャガイモファンドを作られ、老人施設への奉仕、またリーダーとの交流会の様子など、活発な活動が紹介されました。

チャーター10周年で茨木クラブさんをチャーター、1989年第44回日本区大会のホスト、過去に部長2名、区理事1名輩出。IBCはマニラクラブ、マニラマカシークラブで国際交流の様子が窺えました。

記念の贈呈はJWFへの10万円、YMCAへはキャンプテントでした。

第2部の懇親会では高槻クラブの金田副会長の開会の挨拶に続いて大阪クラブの清水汎副会長が親クラブの代表として挨拶に立たれ「パワーを持ち、心を大切に。Yもワイズも世に役立つ活動を今後もより一層願っている」とお話されました。

清水誠治郎中西部長の乾杯の音頭で開宴しました。東は名古屋南は熊本から、多くのワイズが駆けつけ、美味しい食事とお酒でまた懐かしい近隣の部の人たちと、挨拶共々会話も弾み楽しいひとときでした。余興は琉球太鼓、フィリピンのバンブーダンスでした。

祝宴の終わりには、YMCAの歌を全員で斉唱し、閉会となりました。

高槻クラブの皆様の行き届いた応接振りには感心致しました。お祝いを述べるとともに、感謝と労いの言葉を高槻クラブさんに贈りたいです。出席者は末岡メン、清水メン、北村メン、脇本、脇本メネット でした。

【彦根シャトークラブ30周年・長浜クラブ25周年合同例会報告】 豊島 正利

彦根シャトーワイズメンズクラブの皆さん、チャーター30周年おめでとうございます。同じく、長浜ワイズメンズクラブの皆さん、チャーター25周年おめでとうございます。びわこ部で最も活発に活動する両クラブの合同記念例会に出席する機会を与您いただき感謝申し上げます。

合同記念例会は、例年より10日ほど遅い桜の満開にあわせたように、4月15日長浜市の北ビワコホテルグッツィエで、午後6時から開催されました。全国から200人に近いワイズメンが参集し両クラブをお祝いしました。

第一部は記念例会で、彦根シャトークラブの伊藤忠夫ワイズに対する黙祷から始まりました。その後、彦根シャトーの西野佐治郎会長の開会点鐘、歓迎の挨拶等がテンポ良く進められ、両クラブの歩みと活動が紹介されました。特に記念事業としてYMCAに対して、風の谷キャンプ場の増設に大きな支援をされたことが披露されました。例会は約30分で終わりました。

第二部の懇親会は、女性だけの、それも小学生にドラマーを抱えたバンドが会場を盛り上げてくれました。実行委員長の沢田正夫ワイズの監督指揮の下に楽しい懇親会となりました。

当日は、中部金沢犀川クラブ、阪和部大阪泉北クラブの方々と同席しました。当日は中西部高槻クラブの周年例会と重なり、中西部の各クラブは分かれて参加するように手配したクラブあり、掛け持ちで両方に参加される方々ありで、大変だったと思います。

今後の両クラブのますますのご発展を祈念いたします。

大阪クラブからの参加者： 豊島正利

【京都パレスクラブ40+1周年記念例会報告】 豊島 正利

京都パレスワイズメンズクラブの皆さん、設立41周年おめでとうございます。この記念すべき周年記念例会に出席する機会を与您いただき感謝申し上げます。通常ですと、40周年記念例会として昨年3月に計画されていましたが、東日本大震災のため中止されましたが、40+1周年例会として開催されたものです。

京都パレスワイズメンズクラブ 40+1周年例会が、4月22日(日)、京都ホテルオークラで開催されました。370人位の参加者を迎えて盛大に執り行われました。この中には、IBC、DBC、トライアングルIBC締結のクラブからも多数の参加者がありました。

第一部の式典は、定刻午後4時に、森田美都子会長の開会点鐘に始って、ワイズソング、熊本むさしクラブの田上 正(クリスチャニティー特別委員長)ワイズによる聖書朗読・開会祈禱、賛美歌「勝利ののぞみ」を斉唱、会長挨拶、来賓祝辞、メモリアルアワー、パレス40+1年のあゆみ、山本一博直前会長によるパレス宣言、入会式、マニラダウタウンクラブ・東京グリーンクラブ・京都パレスクラブとのIBCトライア

ングルの披露、本件九龍クラブとのIBC締結式、YMCAの歌斉唱、そして森田美都子会長による閉会点鐘で2時間におよぶ記念例会が無事修了しました。私の理解する例会の基本に則った進行であったと思います。第一部のナビゲーターは大野嘉宏ワイズ。

第二部の懇親会は、華やかに京都コンポーザーズ・ジャズ・オーケストラによるジャズ演奏で幕が開かれました。懐かしい音楽が流れる中で、和やかにすすみました。第二部のナビゲーターは川上・塚本両ワイズによって進められました。圧巻は、パレスの会員72名の紹介でした。ステージからはみ出さんばかりの大勢のメンバーに圧倒されました。

乾杯の音頭は、パレスクラブから巣立っていかれたワイズの方々全員で行われました。2時間あまり懇親会も瞬く間に過ぎていったように感じました。為国光俊実行委員長の閉会挨拶でお開きになりました。

テーブルは、京都みやびクラブの皆さんと宝塚クラブの三品ミチコさん、石田由美子さん、福田好子さ、長尾亘さんと一緒でした。

今後の京都プリンスワイズメンズクラブの益々のご発展を祈念いたします。ありがとうございました。
大阪クラブ参加者： 豊島正利

【HH国際キャンプについて】

吉田 亜衣 (HHキャンプOG)

HHキャンプは、大阪YMCA主催の聴覚障がいを持つ、16歳～25歳までの男女を対象とした国際キャンプです。2年に1回、アジアを中心に実施されます。今夏に、香港・マカオにて開催される予定です。そのキャンプにむけて、ワイズメンズの方々、YMCAスタッフ、OB、OGの人たちが集まって、計画を進めています。

各国の聴覚障がい者一人ひとりが日常生活の中で抱えている問題と向き合いながら(相互理解)ともにキャンプを盛り上げていくことを目標としています。コミュニケーション手段は、手話、ジェスチャー、筆談などを使いながら、気持ちを伝えあいます。

私自身も高校生のときから参加しています。各国からの参加者たちと海洋体験や料理、寸劇などの様々なプログラムを体験しました。言葉がなくても、手話がちがっていても、一緒に楽しもうという心、お互いに伝えあおうとする心を持つことを意識するようになります。そこが魅力的なキャンプです。

今年も、私たちは、心がひとつになれるようなキャンプを目指していきます。皆様、温かい支援をよろしく願いいたします。

【サラワク雑感】

五条 孝次郎

下記のような「アジア・ビレッジ」のビジョンを掲げて、6月25日にサラワク・ジャパン・ソサエティの賛同者一同はサラワク州に赴くこととなりました。最新旅程は以下の通りです。

ビジョン：

日本人、マレーシア人他アジア各地よりのロングステイヤー、永住希望者、エコツーリスト、ワーキングホリディ、英語留学生らがそれぞれの目的で集まれる保養地、訓練地を築いていきます。ロングステイを長期の多様なリゾートライフと受けとめて、ローコストで魅力的な海外生活を楽しめるもの、有意義なものにします。近代化と周辺地に原始環境が併存するサラワク州クチン市を「アジア・ビレッジ」の拠点とします。日本人にとっては、ここでアジア各地の人々からリスペクトされる日本人モデルを再構築しアジアのリーダーをめざす場と受けとめます。

サラワク・ボルネオツアー（企画原案につき旅程プログラムに変更ある場合があります）

2012年4月10日改訂

日次	月/日 曜日	都市名	交通 機関	現 地 時 刻	摘 要	朝 食	昼 食	夕 食
1	06/25 (月)	大阪(関空)発 クアラ Lumpur - 着 クアラ Lumpur - 発 クチン 着	MH-053 MH-2530	11:00 16:40 19:00 20:45	空路、マレーシア航空でクアラ Lumpur へ 着後、航空機乗継 空路、北ボルネオ・サラワク州クチンへ 着後、専用バス 【クチン泊】			機 内
2	06/26 (火)	クチン ボルネオ・ハイランド	専用バス	午後	ホテルにて朝食 オランウータン・リハビリセンター ツアーグループ：リゾート散策 ゴルフグループ：ホーンビルゴルフ場 ジャングルスパー 【ボルネオ・ハイランド・リゾート泊】			
3	06/27 (水)	ボルネオ・ハイランド クチン発 シブ着	専用バス By Air 30分	午後	ホテルにて朝食 ツアーグループ： <u>ハイランドツアー</u> ゴルフグループ：ホーンビルゴルフ場 <u>シブYMCAとの交流会</u> シブ夜市訪問 【シブ泊】			
4	06/28 (木)	シブ パカン	専用バス ボート	午前 午後	ホテルにて朝食 リパークルーズ 入村式 村周辺散策など 【ロングハウス泊】			
5	06/29 (金)	ロングハウス滞在		午後	ジャングルを歩く 胡椒畑、天然ゴムなど見学 ボランティア作業(任意) 【ロングハウス泊】			

6	06 / 30 (土)	パカン シブ発 クチン着	ボート 専用バ By Air 30分	午後	ハウスにて朝食 (クチンへ移動) ホテルチェックイン 休息 自由 打ち上げ夕食(できれば地元の人達と夕食 会) 【クチン泊】			
7	07 / 01 (日)	クチン発 クアラルンプール着 クアラルンプール発	MH2597 MH052	午前 午後 20:00 21:40 23:45	ホテルにて朝食 ツアーグループ: <u>クチン市内見物(サラワク 博物館、アンティークショップ他)</u> ゴルフグループ: ケラブゴルフサラワク ラストラウンド ショッピング 【機内泊】			
8	07 / 02 (月)	大阪(関空)着		07:15	着後、通関、解散			

備考: 概算旅費20万円/人、参加資格に制限はございません

ツアー説明会を6月11日(月)夕刻に行う予定です(あらためて案内いたします)

フライトの関係で当社の旅程より帰国が一日早まり7月2日(月)となりました。

【Y M C A ニュース】

大阪Y M C A 早天祈祷会

大阪Y M C Aでは毎月第三金曜日の朝に祈祷会が催されています。

牧師先生やY M C Aに連なる方のお話を聴き、人生の歩みを分かちあう時としています。

第226回 2012年5月18日(金)

証し: 齊藤 薫 さん (本部事務局スタッフ)

時間: 午前7時30分~8時30分

祈祷会(礼拝) 午前7時30分~8時

朝食会(軽食) 午前8時~8時30分

場所: 大阪Y M C A会館 10階 チャペル

会費: 300円(軽食代)

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 堺クラブ50周年記念例会・・・5月11日(金) 18:55～ 於：なんばパークス 8F フュージョン
2. 豊中クラブ50周年記念例会・・・5月13日(日) 15:00～ 於：千里阪急ホテル
3. 第15回西日本区大会・・・6月9日(土)～10日(日) 於：滋賀県立文化産業交流会館
長浜ロイヤルホテル
4. 泉北クラブ30周年記念例会・・・6月23日(土) 12:00～ 於：堺リーガロイヤルホテル
5. 第70回国際大会・・・8月2日(木)～5日(日) 於：ノルウェー・スタバングル
オフィシャルエージェントは、トラベルファイブです。

参加希望者は、脇本書記宛(090-9286-0108 fax 06-6761-9713)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06) 6631-2169

【編集後記】

花咲き、山は早緑色で、心浮き立つ季節となりましたが、編集委員は、右足の膝関節の痛みから、足を引きずりながらの生活です。すべての面で不義理をしていますが、ご容赦ください。体重を減らすのが、なによりの特効薬とわかっていますが、実行できていません。HH国際キャンプへの支援をよろしくお願いします。

(編集委員：松原伸幸)